



Denyo

環境報告書 2020

Environmental Report

目次 Contents

編集にあたって…p.3

マネジメント…p.4

社長メッセージ

環境基本理念

環境基本方針

環境管理体制

環境目標と実績

バリューチェーンにおける

環境負荷の全体像

環境会計

環境リスクマネジメント

製品における環境配慮…p.13

環境性能の高い製品開発

製品のライフサイクルにおける
環境配慮 …p.15

環境配慮型製品の普及活動

アフターサービスによる取り組み

生産面における環境配慮…p.18

地球温暖化防止

資源循環型社会の形成

化学物質の管理

環境保全・地域貢献活動…p.24

環境保全活動

地域貢献活動

編集にあたって Editorial Statement



情報開示体制

持続可能な社会の実現に向けた当社の環境面における取り組みについて、お取引先様や株主様をはじめとするステークホルダーの皆様へ下記の媒体にて情報を開示しております。

【年次環境報告書】



【ホームページ】

<https://www.denyo.co.jp>



報告対象期間

2019年度(2019年4月～2020年3月)及び一部内容についてはその前後の期間。

発行時期

2020年10月

お問い合わせ先



デンヨー株式会社

〒103-8566

東京都中央区日本橋堀留町2-8-5

ホームページ <https://www.denyo.co.jp>

経営企画室 TEL : 03-6861-1111

FAX : 03-6861-1185

免責事項

本環境報告書には、将来についての予想及び見通しが含まれている場合もございます。これらは様々な要素の影響により、実際と異なる結果になることがあります。

マネジメント

Management



Contents

社長メッセージ	…p.5
環境基本理念	…p.6
環境基本方針	…p.6
環境管理体制	…p.7
環境目標と実績	…p.8
バリューチェーンにおける 環境負荷の全体像	…p.9
環境会計	…p.10
環境リスクマネジメント	…p.11

マネジメント Management



社長メッセージ



この度は環境報告書をご覧いただき、誠にありがとうございます。
さて、2019年度は天皇陛下がご即位され、令和という新しい時代の幕が開けました。そして、ラグビーW杯で日本代表が目覚ましい活躍をみせ、初めて8強入りする快挙を遂げるなど明るい話題も溢れました。

一方で、9月から10月にかけて立て続けに発生した台風や大雨の甚大な被害は、今なお大きな爪痕を残したままです。このような地球環境に起因する問題はあとを絶たず、個人ひいては企業に対して地球環境問題への対応力が問われる時代となっております。

その点を踏まえ、当社ではパワーソースの提供を通じて持続可能な社会を構築する一助となれますよう、引き続き、環境に配慮した活動および製品の開発を積極的に進め、環境問題の改善に注力してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年10月

デンヨー株式会社
代表取締役社長

白鳥昌一

マネジメント Management



環境基本理念

デンヨーは、パワースource製品の提供を通じて、社会インフラの拡充等にグローバルに貢献すると共に、企業の社会的責任として環境保全を深く認識し、環境と調和した事業活動を積極的に推進します。



デンヨー株式会社 福井工場

環境基本方針

1. 事業活動における、省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減、臭気・騒音の低減等、健全な環境の維持向上を図ると共に、環境に配慮した製品の提供を推進し、汚染の予防に努めます。
2. 環境に関連する法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を順守すると共に、関連する社会的要求を尊重します。
3. 環境保全に取り組むためにISO14001:2015年版に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、その継続的な改善を図ると共に、環境目的及び目標を設定し、そのレビューを通じて環境パフォーマンスの向上に努めます。
4. 環境方針は文書化し、従業員及び当社のために働く人全員に周知すると共に、利害関係者からの要求も含めて、公開HP上で広く一般に開示します。
5. プロセスの有効性と効率を継続的に改善し環境目標の達成を期します。

マネジメント Management

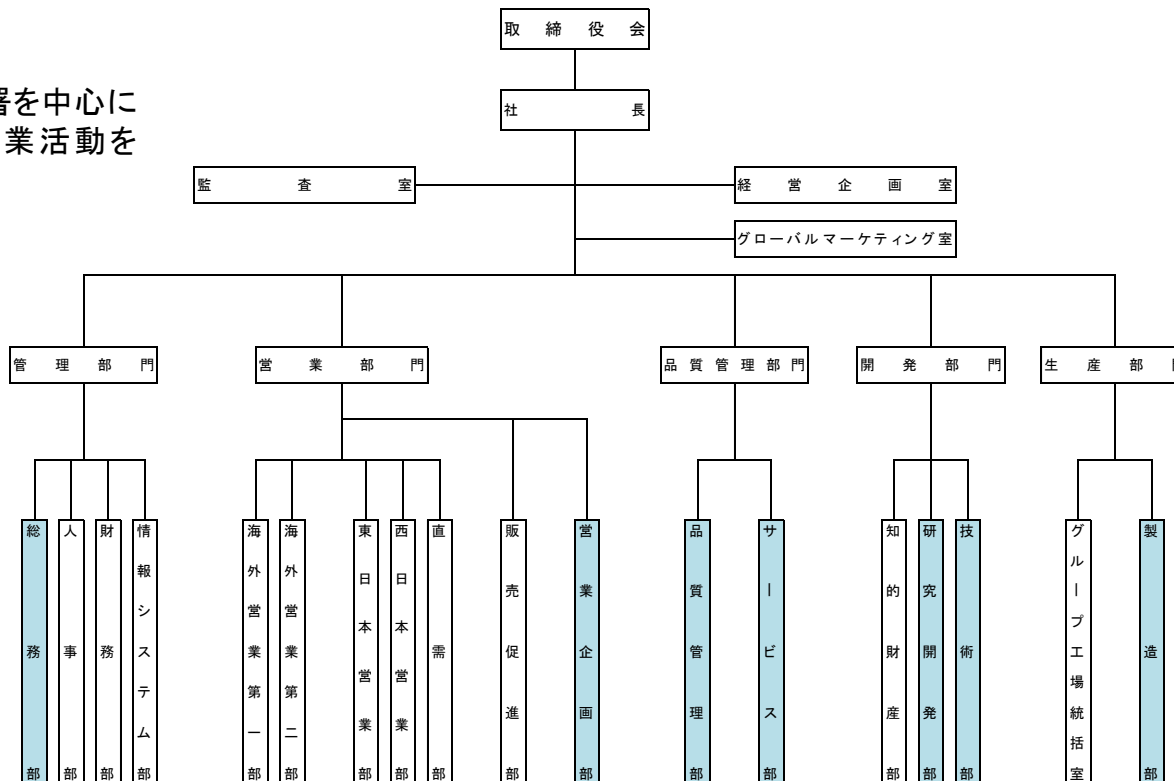


環境管理体制

◎ 推進体制

デンヨーでは、下記の推進部署を中心に環境負荷の低減に向けた事業活動を推進しております。

■ …推進部署



◎ ISO14001認証取得

デンヨーは、社長をシステム経営者として環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、国際規格ISO14001:2015の認証を取得しております。EMSを運用する中で、事業活動の環境影響を評価し、重要な課題については具体的な目標を掲げ年間計画を作成し、省資源・省エネルギーの推進による環境負荷の低減、環境リスクの予防活動を行っております。

マネジメント Management



環境目標と実績

環境経営を実現するために、年度毎に目標を定めその評価を随時行っております。

項目	2019年度の目標	2019年度の実績	2020年度の目標
環境性能の高い製品の開発	独自の新技術に基づく環境配慮型製品の開発	<ul style="list-style-type: none">・自動アイドリングストップ機能付ディーゼルエンジン溶接機の開発・静音発電機の開発	独自の新技術に基づく環境配慮型製品の開発
資源循環型社会の形成	2019年度末までに「生産高当たりの産業廃棄物の量」を2016年度比12%以上低減する。	2016年度比生産高当たり17.0%減	2020年度末までに「生産高当たりの産業廃棄物の量」を2016年度比13.5%以上低減する。
	2019年度末までに「生産高当たりの原油換算エネルギー使用量」を2016年度比6%以上削減する。	2016年度比生産高当たり6.7%減	2020年度末までに「生産高当たりの原油換算エネルギー使用量」を2016年度比7%以上削減する。
社会貢献活動	事業所周辺地域に隣接するグリーンベルトの整備充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・枯木の伐採実施・季節の花の植栽やプランタの増設実施・構外周辺道路の清掃活動実施	事業所周辺地域に隣接するグリーンベルトの整備充実を図る。

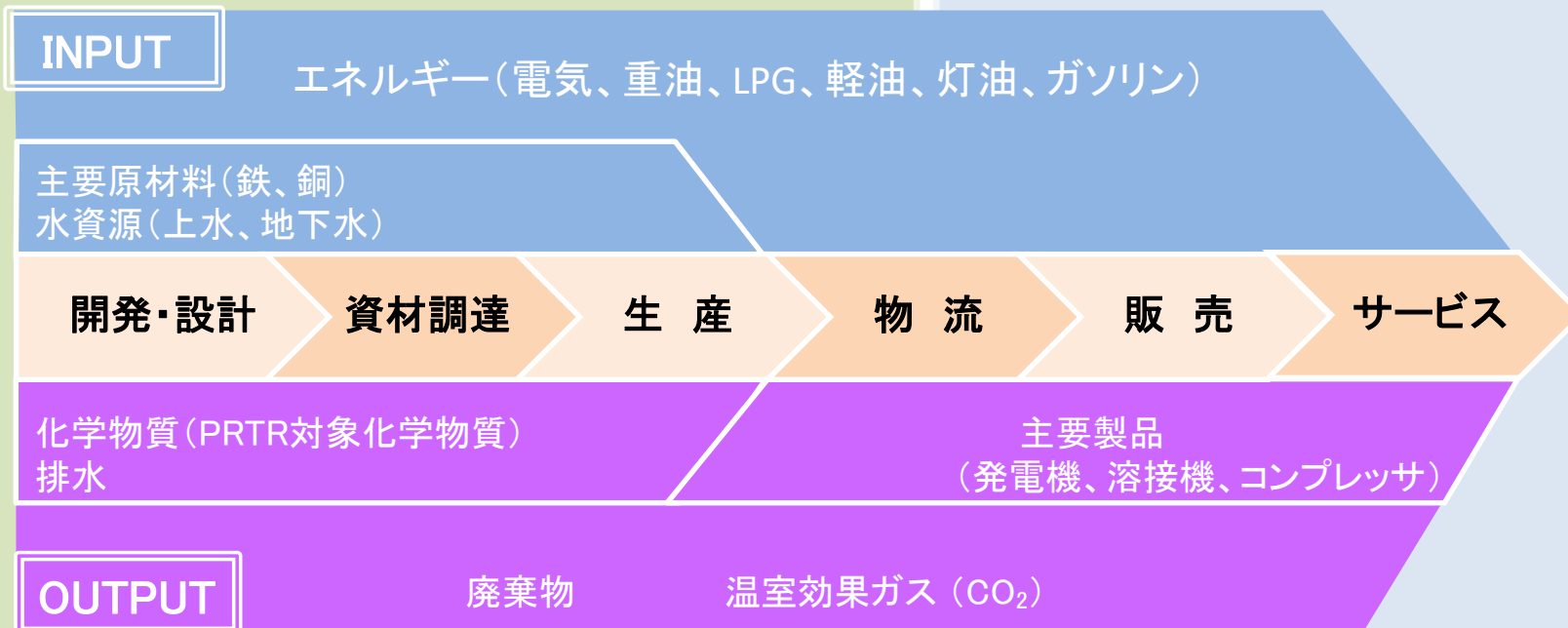
マネジメント Management



バリューチェーンにおける環境負荷の全体像

生産面における環境配慮

製品のライフサイクルにおける環境配慮



デンヨーでは生産・事業活動の物質投入・排出量を把握し、環境負荷低減に努めております。(P.18～P.23)

デンヨーでは製品知識講習や、納入点検・定期点検等のサービスを通じて、製品を正しくご使用いただくことで環境負荷低減に努めております。(P.15～P.17)

マネジメント Management



環境会計

環境保全への取り組み状況を環境会計にて定量的に管理し、効率的かつ効果的な環境保全への取り組みに役立てます。

(環境会計は環境省「環境会計ガイドライン2005」を参考に、当社独自の集計を行っています。)

分類		内容	金額 (単位:千円)
事業内エリアコスト	公害防止コスト	環境測定費用(水質、臭気、振動、騒音、ばい煙、等)	3,564
	地球環境保全コスト	フロン機器処分費	196
	資源循環コスト	廃棄物処分費	24,283
上・下流コスト			0
管理活動コスト		緑地維持管理費用、環境関連設備点検・維持費用	7,149
社会活動コスト			0
環境損傷対応コスト			0
合		計	35,192

マネジメント Management



環境リスクマネジメント

デンヨーでは、事業活動において、突発的な事故・災害などによる環境リスクを想定し、予防、早期対応、緩和を目的とした定期的な教育・訓練を実施しております。
適切な対応手順の確認と継続的な改善活動を行っております。

緊急事態対応教育・訓練

内容	工場にて燃料・油・薬品が流出した際の対応、緩和資材の使用方法について				過去の事例から対応内容を振り返り、社内システムの有効性を確認
開催日	2019年10月30日	2019年11月20日	2019年11月22日	2019年11月26日	2019年11月28日
開催場所	滋賀分工場	福井工場	福井工場	福井工場	福井工場
参加者数	20名	12名	11名	11名	4名



緩和資材の使用方法確認



教材を使った部署ごとの教育



事業所内各部署への対策マニュアル周知

マネジメント Management



環境リスクマネジメント

【消防訓練】

デンヨーでは、業務中に火災が発生した場合に備えて、定期的に消防訓練を実施しております。

福井工場
での
訓練の様子



開発研修
センターでの
訓練の様子

製品における環境配慮

Eco-Friendly Products



Contents

環境性能の高い製品開発 ……p.14

静音発電機 Mālie(マーリエ)

LPガス非常用発電機 LEG POWER

製品における環境配慮

Eco-Friendly Products



環境性能の高い製品開発

◎ 静音発電機 Malie(マーリエ)

静音発電機 Malie(マーリエ)は図書館内とほぼ同じ静けさを実現したエンジン発電機です。

今回新たにラインアップしたDCA-45MZは、2017年に発表した25kVA出力のDCA-25MZより大出力の45kVA機です。騒音値低減に係る開発は困難を極めました。25kVA機と同等の騒音値44dBを実現しました。

ラインアップを拡充したことで、静けさが要求される深夜の工事やイベントはもちろんのこと、防災用や業務用などでも使用用途の広がりが期待されます。



DCA-45MZ

◎ LPガス非常用発電機 LEG POWER

LPガスは災害時に電気や都市ガスなどのライフラインが寸断されても、供給が途絶しにくい「災害に強いエネルギー」です。

そのLPガスを燃料とした当社のLPガス非常用発電機は、単相9.9kVAから三相54kVA機をラインアップしており、多くのお客様から高い信頼を得ております。

排出ガスに、粒子状物質(PM)、黒煙を含まずクリーンです。また徹底した防音設計により周囲にストレスを与えない環境配慮型の製品となっています。



LEG-9.9USXT

製品のライフサイクルにおける環境配慮

Environmental Consciousness in the Product Life Cycle



Contents

環境配慮型製品の普及活動	…p.16
製品講習会	
アフターサービスによる取り組み	…p.17
巡回サービス	
サービス員講習	

製品のライフサイクルにおける環境配慮

Environmental Consciousness in the Product Life Cycle



建設機械のライフサイクルにおけるCO₂排出量の約90%は製品使用時の排出とされています。また、製品使用時の思わぬ事故により環境汚染を引き起こす危険性もあります。デンヨーは、環境配慮型製品の普及促進と、正しい知識を持って安全に製品をご使用いただくためのアフターサービスが重要と考えております。

環境配慮型製品の普及活動

◎ 製品講習会

グローバルに事業を展開しているデンヨーでは、深刻化する環境問題の改善に向けた事業活動と製品開発を積極的に進めています。またお客様への講習を行い、環境配慮型製品の普及にも努めています。

主催 デンヨー ユナイテッド マシナリー Pte. Ltd. (アジア地域の販売子会社)
開催日 2019年11月6日
開催地 ベトナム
内容 極超低騒音型エンジン発電機 USシリーズ 製品紹介



製品紹介の様子



実機を用いた製品紹介の様子

製品のライフサイクルにおける環境配慮

Environmental Consciousness in the Product Life Cycle



アフターサービスによる取り組み



発電機納入時の
機械内部点検



座学研修

発電機納入時の
試運転点検



実機講習



◎ 巡回サービス

サービス工場*の全国ネットワークにて、点検を実施。
お客様の製品のコンディション維持に努めています。

◎ サービス員講習

サービス工場*のサービス員教育を実施し、
質の高いサービスが提供できるよう努めています。

*サービス工場：デンヨー製品の点検や修理、部品販売などのサービス業務を担う協力会社

生産面における環境配慮

Eco-Friendly Production



Contents

地球温暖化防止	…p.19
CO2排出削減	
資源循環型社会の形成	…p.20
エネルギー削減の取り組み	
廃棄物の削減	
3R活動	
化学物質の管理	…p.23
PRTR対象化学物質の管理	

生産面における環境配慮

Eco-Friendly Production



地球温暖化防止

◎ CO₂排出削減

デンヨーでは、事業活動にともない排出されるCO₂の削減に取り組み、地球温暖化防止に努めております。2019年度のCO₂排出量は4,407tで、2016年度比7.5%減となりました。2018年度と比べ使用エネルギー量は増加しましたが、エネルギー種別割合により、CO₂排出量は減少しております。デンヨーは今後も、CO₂削減に向けた取り組みを継続的に実施してまいります。

	電気 使用量 (千kWh)	燃料等 使用量 (GJ)	換算後の CO ₂ 排出量 (t)	売上高 (百万円)	売上高 (百万円) 当たりの CO ₂ 排出量 (kg)
2019年度	5,386.9	36,720.1	4,407	40,836	107.9
2016年度	4,932.7	34,088.2	4,762	35,117	135.6
2016年度比	+ 9.2 %	+ 7.7 %	△7.5 %	+ 16.3 %	△20.4%

※売上高はデンヨー単体の売上高です。



生産面における環境配慮

Eco-Friendly Production

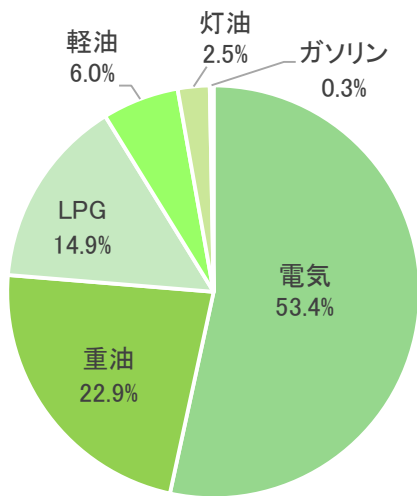


資源循環型社会の形成

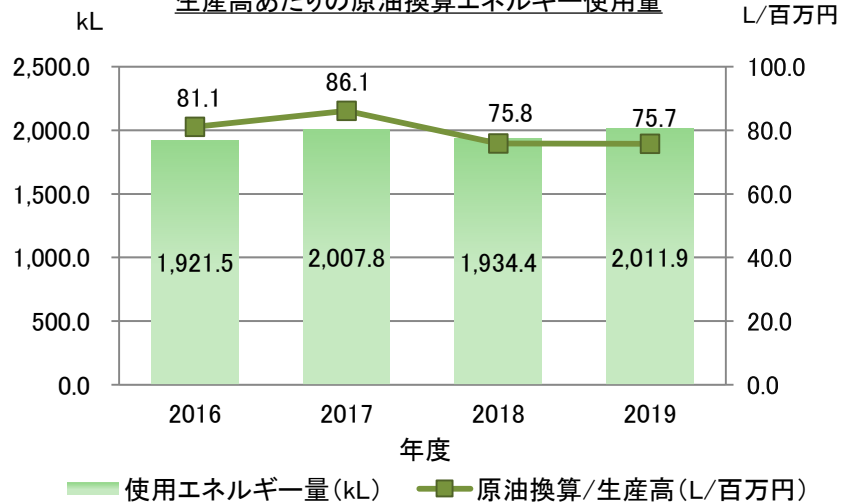
◎ エネルギー削減の取り組み

2019年度の生産高あたりの原油換算エネルギー使用量は75.7L/百万円で、2016年度比6.7%減となりました。複数年計画で改善を行ってきた屋内外照明のLED化と高効率キュービクルに更新した効果に加え、2019年度は生産量増加により生産効率が向上し、生産高あたりの原油換算エネルギー使用量が減少しました。

使用エネルギーの内訳(原油換算)



使用エネルギー量及び
生産高あたりの原油換算エネルギー使用量



生産面における環境配慮

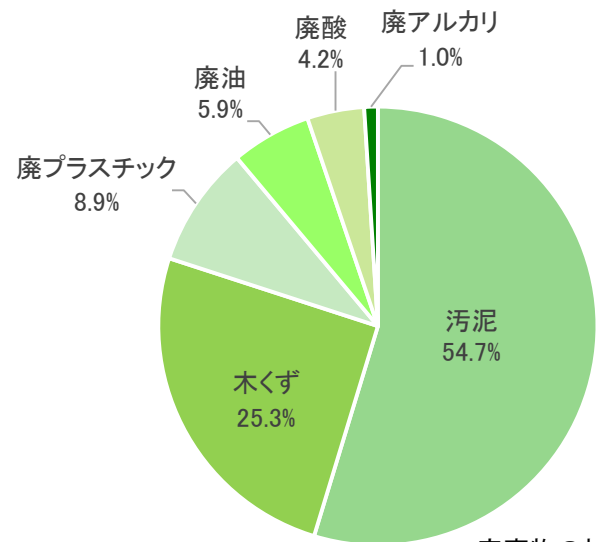
Eco-Friendly Production



資源循環型社会の形成

◎ 廃棄物の削減

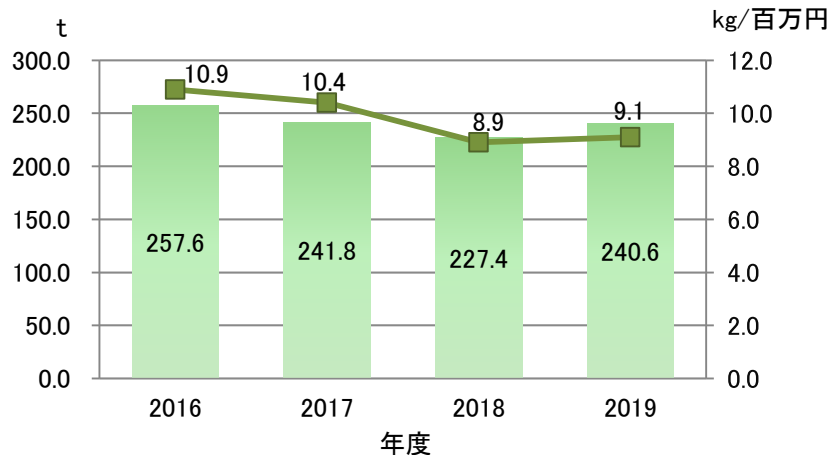
廃棄物については、関係諸法令に従い適切に管理及び処理を行っております。
2019年度の産業廃棄物の排出量は約241tで、2016年度比生産高当たり17.0%減となりました。
2018年度と比べ、生産量増加により廃棄物全体の排出量は増加しましたが、3R活動により木くずの排出量は約20%減少しました。
今後も安定的に一定量以上の廃棄物を削減できるよう、引き続き取り組んでまいります。



廃棄物の排出量内訳

※集計対象範囲は福井工場及び滋賀分工場となります。

産業廃棄物量及び
生産高あたりの産業廃棄物量



■ 廃棄物量 (t) ■ 廃棄物量/生産高 (kg/百万円)

生産面における環境配慮

Eco-Friendly Production



資源循環型社会の形成

◎ 3R活動

近年、私達の生活に欠かせない石油などの資源の枯渇や、ごみの最終処分場不足などが問題となっており、3R (Reduce・Reuse・Recycle) の重要性が高まっています。
デンヨーでは、限りある資源を有効活用し、環境に与える負担を少しでも小さくするため、様々な取り組みを行っています。ここでは、その活動の一部をご紹介します。

Reduce / Reuse

デンヨーでは、製品などを輸送する際に使用する荷役台を木製パレットから鉄製パレットに変更しております。不要になった木製パレットについては、木製パレットを使用している企業様に引き取っていただき、2019年度は木製パレット1,842枚を再利用していただきました。
これにより、約32tの廃棄物が削減できました。

Recycle

製造工程で発生した木くずは全て燃料として、汚泥・廃プラスチック・廃アルカリは35%がセメント原料としてリサイクルされました。
これにより、2019年度は廃棄物約241t中49%にあたる約117tがリサイクルされ、新たな原料として生まれ変わりました。



生産面における環境配慮

Eco-Friendly Production



化学物質の管理

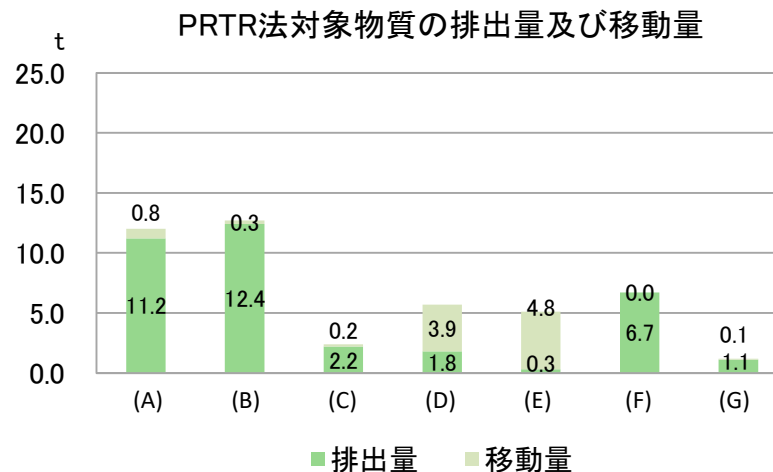
◎ PRTR対象化学物質の管理

PRTR法に基づき、PRTR対象化学物質の環境への排出量、廃棄物としての移動量を把握し、集計・公表しています。

※PRTR(Pollutant Release and Transfer Register : 化学物質排出移動量届出制度)とは、有害性のある多種多様な化学物質がどのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計・公表する仕組みです。

物質名	大気への排出量	移動量
(A) キシレン	11.2	0.8
(B) トルエン	12.4	0.3
(C) エチルベンゼン	2.2	0.2
(D) 塩化メチレン	1.8	3.9
(E) テトラヒドロメチル 無水フタル酸	0.3	4.8
(F) スチレン	6.7	0.0
(G) 1,2,4-トリメチルベンゼン	1.1	0.1

(単位: t)



環境保全・地域貢献活動

Environmental conservation & community contribution activities



Contents

環境保全活動	…p.25
屋上緑化	
水質監視	
地域貢献活動	…p.26
清掃活動への参加	
自衛消防隊操法指導会への参加	

環境保全・地域貢献活動

Environmental conservation & community contribution activities



環境保全活動

◎ 屋上緑化

デンヨーでは、環境と調和した事業活動を推進するという環境基本理念に基づき、2012年度から本社ビルの屋上緑化をしております。屋上緑化をすることで、建物の温度上昇を抑制することができ、それによりヒートアイランド現象の緩和や、冷房効率を向上させる効果があります。

本社屋上緑化面積は、植栽プランターと合わせて屋上面積の38% (40.88㎡) を占め、土壌は夏場の乾燥時にもよく耐える軽量人工土壌を使用しております。

また、四季を感じ取れるよう花が咲くものを中心に約20種類もの品種が賑わいを見せるので、気分転換ができ、休憩スペースとして多くの社員に利用されております。



◎ 水質監視



福井工場では、排水処理した水を河川に放流する前に敷地内に設けた調整池に一度貯める方式をとっております。

生物が棲息可能な状況が確保できているか水質監視を行い、万一、1次排水にて汚染水が流出してしまった場合にも、汚染水を直接河川に放流してしまうといったリスクを最小限に抑えることができます。

環境保全・地域貢献活動

Environmental conservation & community contribution activities



地域貢献活動

◎ 清掃活動への参加

デンヨーでは、湖南工業団地協会主催の清掃活動等にも積極的に参加しております。自然との調和を意識して環境を整備するとともに、近隣企業や地域の皆様との結びつきをさらに強くできるよう、今後もこのようなイベントに積極的に参加してまいります。



清掃活動の様子

◎ 自衛消防隊操法指導会への参加

2019年10月6日に若狭町自衛消防隊三方地域操法指導会が開催されました。この指導会は、自衛消防隊の消防操法技術の習熟や初期消火活動力の向上等を目的としたもので、参加チームが初期消火技術訓練を披露し、その成果を競い合います。当社からも、福井工場の社員4名が参加しました。



自衛消防隊操法指導会の様子

Denyo

●技術で明日を築く



デンヨー株式会社

本社：〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5
TEL:03(6861)1111 FAX:03(6861)1181
ホームページ：<https://www.denyo.co.jp/>

